

## 第2節 計画策定の目的

本町は平成11年(1999年)に「人と大地が輝く元気快適都市・たちあらい」を基本理念とした第3次大刀洗町総合計画を策定し、今年まで10年間まちづくりを進めてきました。その間、わが国の社会情勢は、少子・高齢化や情報化の進展、地球規模の環境問題などにより、住民ニーズは多様化し、さらには地方分権が本格化する中、財政基盤の強化が求められています。

本町においても、景気低迷による町税の減少や、国の三位一体の改革による地方交付税や国庫補助金の削減を受け行財政運営が厳しくなってきました。

このような状況の中、市町村合併による行財政改革を模索してきましたが、平成16年(2004年)6月住民投票の結果、「自立の道」を選択しました。

今後、自治体を取り巻く状況は厳しさを増すことが予想されますが、まちづくりアンケートの結果を踏まえ、住民ニーズの動向や社会情勢を捉え住民参画・協働のもと、「合併をしなくてよかった」「住んでよかった」と感じることでできるまちづくりが求められています。

前計画の施策・事業の成果と反省を踏まえながら、緑豊かな田園風景が広がる**「大刀洗町」**を子、孫へと代々引き継ぐため、第4次大刀洗町総合計画を策定します。

